

九州朝日放送番組審議会議事概要（2月分）

第570回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成27年2月9日（月）午後3時30分～5時
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 7名 欠席委員数 1名</p> <p>（出席委員） 光富彰委員長、宇加治恭子副委員長 松村茂雄委員、宇佐見昇委員 藤田ひろみ委員、古宮洋二委員 三好京子委員</p> <p>（欠席委員） 宮田克彦委員（レポート）</p> <p>（放送事業者側出席者名） 代表取締役社長 武内健二、常務取締役編成制作局長 半田俊彦 ラジオ局長 窪田雅美、報道局長 佐伯拓史 視聴者・広報室長兼番審事務局長 久芳康治 番組プロデューサー 竹重裕行、番組ディレクター 筒井貴之 番組審議会事務局 今村洋子、事務局・テレビ編成部 古賀香織</p>
議 題	<p>1. テレビ番組 「あっぱれ！ニッポン国民遺産」 1月18日（日）午後1時55分～3時20分で放送</p> <p>2. 平成27年2・3月ラジオ・テレビ番組編成状況 平成27年1月視聴者・聴取者応答状況等の報告</p>
議事の概要	<p>◎委員の意見の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽しい番組だった。85分という長さを感じさせない内容と展開だった。 ○「長崎の階段ごみ収集」は、人間味あふれる感動エピソードだった。これでただのパラエティ番組ではなくなったと思う。 ○関根、山瀬のMCコンビは安定感があり、楽しい進行だった。 ○候補者はどのようにして探すのか。苦勞されていると思う。 ○ローカル番組の企画が全国ネットになったのは誇らしいことだ。 などの評価を頂きました。 <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○この手のスゴ技紹介番組はややマンネリ感がある。 ○登場人物9人を減らして、もっと人生や味わいを伝えてほしいと思った。 ○コメンテーターが多すぎる。全体的にゴタゴタ感がある。 ○「スゴさ」の証明（技術的、科学的）が欲しいと思った。 ○今後もこのような地方発のネット番組をどしどし制作してほしい。 などの批評や提言を頂きました。 <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同様の番組が増えてきて、どこで差別化するかが課題だった。 ○ヒューマン性、ドラマ性を持たせたかったが、あれもこれもと詰め込みすぎたことを反省している。 ○ネタ探しは、日頃からアンテナを張り、電話帳による電話作戦など地道な作業をしている。 ○国民遺産候補を探す過程も番組に盛り込めるのではないかと思った。 などの説明を行いました。